

単元名「走・跳の運動（高跳び）」 本時2/5 目標 アドバイスをし合いながら、5歩の助走からリズムよく踏み切って跳ぶことができる。

| 時間 | 学習活動 | 予想される児童の反応 | ICT活用を中心とした視覚化の目的と留意点 ※評価 | ICT活用 | |
|-----|--|---|--|-------------------------|-----|
| 5 | 1 用具の準備、準備運動をする。 | ○友達と一緒に準備をしよう。 ○けがをしないようにしっかり体操をするぞ。 | ○なかなか目にするできない正しい動きを映像で確認することで、高跳びへの興味や関心を高め、学習へとつなげさせたい。 | 大型テレビ タブレット NHK番組 | |
| 5 | 2 クリップ「走り高とびできるポイント」「走り高とびできないポイント」の一部を視聴する。 | ○跳び方がきれいだな。 ○僕たちと跳び方が違うぞ。 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「なぜ？」と必要感や切実感を感じる場…教材とのかかわり 番組を視聴し、高跳びの跳び方を映像で見ることで「やってみたい」という意欲を高める。また、よい跳び方とよくない跳び方を比較した映像を見せることで正しい跳び方に取り組む必要感を高めたい。</p> </div> | | |
| 5 | 3 高く跳ぶためには、助走をどうすればよいか考える。 | ○高く跳ぶためには助走が必要だ。 ○助走はスピードがあった方がいいのかな ○リズムよく助走をすることが大切なのではないかな。 | ○クリップを部分的に視聴させることで、子ども自身に助走にはリズムが大切であることに気づかせ、今日の学習で何を学ぶのかを把握できるようにしたい。 | | |
| 2 2 | 4 アドバイスをし合いながら、5歩の助走から跳ぶ練習をする。 | ○声を出して頑張るぞ。 ○「1・2・3・4・5」のリズムで跳ぶといいんだな。 ○1歩目はどっちかな。 ○最後の3歩をもっとすばやくしてみよう | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「そうか！」と納得できる自分の考えを導き出す場…他者とのかかわり グループでかけ声を出したり、アドバイスをし合ったりする中で、5歩助走の感覚をとらえさせたい。また、カメラを活用し、友達や自分の動きを実際の映像を通して確認させることで動きのコツをつかむきっかけを与えていきたい。</p> </div> <p>※アドバイスし合いながら練習することができる。（観察） ○普段は見るできない自分の動きを映像で確認させることで、自分の体の動かし方をとらえさせ、運動に活用させたい。また、その映像を全体で見て意見を交流する時間を設けることで、全員に自分の跳び方について振り返る手がかりとさせたい。</p> | | カメラ |
| 5 | 5 練習でできるようになったことをみんなの前でやってみる。 | ○5歩の助走ができるようになったよ。 ○この前より高く跳べたぞ。 ○みんなの声でリズムがわかりやすかったな。 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「たしかに！」と考えを確かにし、自信をもつ場…自己とのかかわり お互いの頑張りや成長について認め合う時間を設けることで、みんなが自分の伸びを実感できるようにし、自信を高めたい。またそのことを言葉としてまとめさせておくことで、今日の学習の成果を次の学習へとつなげさせていく。</p> </div> | | |
| 3 | 6 片付けをする。 | ○今日したことを忘れないようにしよう。 ○片付けも協力してやるぞ。 | <p>※5歩の助走からリズムよく踏み切って跳ぶことができる。（発表）</p> <p>○ワークシートにそれぞれが記入している学習の成果を友達と共有させることで、より多くの動きのコツを知ることができるようにする。</p> | | |

次時について・・・3時間目は振り上げ足の上げ方について、4時間目は学習したことをもとに記録に挑戦させていく。